

# 森 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



## 流山市議会議員

選挙から1年が経ちました。国政(とくに衆議院)と異なり、地方議会は余程のことが無い限り任期(4年)中の解散はありませんので、引き続き計画性を持って活動を続けていきたいと思えます。

7月開催のロンドン五輪が近づいてきました。スポーツがもたらす「力」。日本人の活躍を見て国中で沸き立ちたいですね。

## 5月号(駅頭・WEB用) 森りょうじリポート。(58号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

会派「流政会」が再スタート。

私が所属する会派「流政会」。会派は国会で言う政党のような存在で、政策や理念を共有する仲間の集まりです。昨年の選挙後は10人でスタートしましたが、4月より7名で再スタートすることになりました。

議会は合議体であり一人で政策を実現していくことは限界があります。と言って、ただの仲良しクラブ的な集団では意味がないことも国の政治を見れば明らかです。そこを補う点でも会派は重要な役割を意味しますので、今回の再スタートを機により一層、政策本位の集団として質を高めていきたいと思えます。

6月議会に向けて(6/7-6/27の予定)

前回3月議会では多くの方に議会中継を見ていただくこと、議会でFacebookを通じて呼び掛けを行ったところ通常の1.6倍のアクセスがありました。

視聴者の方からは議員の質問レベルなどについて言及する厳しい意見もありましたが、そのような多くの監視の眼があってこそ“強い議会”が出来上がるというのが持論です。(人数的に)小さな議会を目指すとしたら、自ずと皆さんの監視責任も必要となってきます。

仏様に仕えた男。(公式ブログより)

私的なことですが、先月下旬に政治家としての基本姿勢を教えていただいた方がお亡くなりになり、様々な思い出が蘇りました。心境をブログに綴りましたので、ホームページよりご覧頂きましたら幸いです。

1976年6月12日流山生まれ(35歳)

サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

2000年4月 大成建設株式会社に入社

2003年4月 流山市議会議員に初当選(一期目)

2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

世界や日本の地方政治・地方自治を研究

2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味: 政治(人と語る・駅頭)・読書・ノミネーション

体型: 身長159.5cm・体重56.5kg

後援会事務所: 流山市中野久木559-2

討議資料

## 高齢化対策と経済活性化 戦略的なリバースモーゲージの構築を

(前号に続き3月議会の質問報告です)  
一般的に“高齢化”という少し悲観的なイメージがあります。更に空き家が増えたり、購買意欲が落ちたり...という悪循環も指摘されています。そのような現状に対しリバースモーゲージ制度(持ち家を担保に生存中の生活資金の融資を受ける制度)について質問を行いました。(過去にも質問)

実は同制度は既に当市にも存在していますが、生活保護者に陥らないための予防策的な制度として位置付けられているためか過去6年間での利用実績は1件に留まっています。市内にも空き家や独居世帯が目立ってきており民間事業者と連携し、活力のある地域づくりが望まれます。

### 森が考える政策ポイント

- 現行制度を見直して、使い易い制度に。(民間の金融機関ではサービスの拡充で利用実績が増加傾向にあり)
- 高齢世帯ほど持ち家率と貯蓄額が大きく(下表)地域経済の活性化に向けてその世代の方の消費を促す政策が必要
- 同制度の活用で空き家の増加に歯止めかけ、バランスのある街づくりを。
- 市内で高額寄付者が現れるなど、資産活用に対する価値観の多様化が目立っており、その受け皿として活用を。

上記以外の理由もありますが、いずれにしましても、“高齢化社会の到来”という現実と向き合いながら街づくりを進めていく中で、このような現状を前向きに捉えていく必要があります。(高齢者世帯が多い流山市は貯蓄が多い可能性あり)

市長・担当部長からも前向きな答弁があり、官民の連携(PPP)を検討する旨の答弁などがありました。今後もその経過を見守り、提言を続けていきたいと思います。

【下表参考データ】世帯主の年齢階級別 1世帯当りの貯蓄・持家率(2009年) 出処:高齢社会白書他

世帯主/世代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
持家率	20.3%	52.0%	74.8%	86.7%	91.3%	91.8%
貯蓄(万円)	459	584	746	817	2,202	2,361

【連絡先】TEL & FAX: 7155 3236  
Mail: roji612@peach.ocn.ne.jp

## “議員の仕事”とは? 議員定数の議論を始める前に

先日とある所で「職業」と併せて「具体的な業務」を尋ねられる場面がありました。前者は「議員」ですが、後者は「議事」と書きました。日本国憲法に従い法律的に言えば地方議員の責務はこれが適当です。でも皆さんには、しっかりこないかも知れませんね。

実は地方議員の課題の一つとして、現在は様々な役割が期待されているという面があります(例:地域・業界・組織の代表者、政策立案者、ヨロズ相談屋など。また兼業も可。非難ではなく現実のこととして言及)

これから議会内では議員定数の議論が始まります。もちろん市民の皆さんとの対話も予定していますが、その際、一般的に皆さんは「議員が多すぎると」という主張から入る傾向があります。これは一理ありますが、役割が曖昧になればなるほど、正確な定数というものも難しくなります。

また、この議員定数の議論は“感情論”が先行しがちなことも事実。私自身も定数減を謳っておりますが、物事を前進させるには感情的な議論だけでは難しい面があり、理論によって賛同者を増やしていくことも大切です。国会で議員定数の議論が進まないのはこの点にあると思われれます。(議員間でも感情論が先行)今後この議論に望むにあたり皆さんの声をお聞かせ下さい。 下記設問に対しMAIL・FAX・SNS等で返答を頂けましたら幸いです。

### 1. 解答者の詳細

お名前は任意

世代 地域 性別

### 2. 議員に求める仕事は?

複数回答可

- 議事(協議して、議決をすること)
- 行政のチェック(監視)役
- 政策を立案すること
- その他( )

### 3. 議員定数について

当議会は28名

適当 多い 少ない

### 4. 適正数とその理由

と答えた方